

水土里ネットおおいた

# 土地改良広報 No.342



水土里ネット大分と桜花爛漫（令和6年4月1日撮影）

## Contents

- 02 会長あいさつ
- 03 県幹部新年度あいさつ
  - ・農林水産部長
  - ・農地計画課長
  - ・農地・農村整備課長
- 06 トピックス
  - ・能登半島地震 石川県災害応援
  - ・「中部女性連絡協議会」設立総会を開催
  - ・玖珠郡土地改良協議会合同水神祭を開催
  - ・全国水土里ネットが通常総会並びに表彰式を開催
- 09 会議・要請活動
  - ・大分ため池技術研究会が現場研修会（2月8日）を開催
  - ・第66回通常総会を開催
- 11 県・連合会の職員配置
- 12 水土里ネット大分 各部課所長の紹介
- 14 退職者の紹介
- 15 新入職員の紹介
- 令和5年度 資格取得者
- 16 第10回土地改良振興大会のお知らせ
- ・大分県農業・農村多面的機能支払シンポジウム2023  
～水土里の資源を次世代へ～の開催

4  
2024  
April



# 会長あいさつ

大分県土地改良事業団体連合会

会長 義経賢二

はじめに、令和6年能登半島地震によりお亡くなりになられた方々に深く追悼の意を表するとともに、被災された方々に心よりお見舞い申し上げます。被災地の安全と一日も早い復旧と復興を心よりお祈り申し上げます。

また、会員並びに関係者の皆様方におかれましては、日頃より、本会の運営並びに農業農村整備の推進につきまして、格別のご支援とご協力を賜り、厚く御礼申し上げます。

本年度も、昨年度に引き続き各種行事や研修会を予定通り開催し、会員の支援を行ってまいりたいと考えています。

さて、ロシアのウクライナ侵攻が令和4年2月に始まり、約2年間が経過しております。この侵攻に伴って小麦やトウモロコシなどの国際価格が急騰し、さらに世界的な異常気象による干ばつ等の影響で食料危機がよりいっそう深刻になっています。このような中、食料安全保障についてのあり方が議論されており、国においても、農政の憲法とされる「食料・農業・農村基本法」改正が国会で審議されています。今後、土地改良施設などの農業生産基盤の整備のみならず、農業水利施設等の保全に必要な対策を講じることがこの基本法に明記され、日本の農業基盤を支える土地改良区の重要性は今まで以上に高まっていくのではないかと考えています。

一方で、いよいよ本格的な人口減少社会が到来することにより、国内市場の縮小や労働人口の減少等がもたらされます。特に農業分野においては、農業現場での人材不足や農村地域のコミュニティの衰退などの理由で、わが国の食料生産を支える農業生産基盤の維持が懸念されています。このような諸課題の解決の為、農業土木技術者の確保・育成については、かねてより県教育長へ関係団体の力を借りながら農業土木系学科の設置要望を重ねてきました。令和2年度に国東高校に環境土木科が開設、本年度には三重総合高校に環境土木コースが新設されるなど、成果を得ており今後も引き続き、より多くの即戦力たる人材の育成と確保を目指すとともに、土地改良法の改正により受託できるようになった会員からの委託を受けて行う土地改良事業の工事や事務支援を通して、この課題に対して取り組んでいきたいと考えています。

最後になりますが、今年度の農業農村整備事業関係予算は、当初予算では前年を上回る4,463億円、令和5年度補正予算を含めて6,240億円が確保されました。これもひとえに二階全土連会長をはじめ、全国水土里ネット会長会議の進藤金日子顧問、宮崎雅夫顧問など多くの方々のお力添えのおかげだと思っております。この場を借りて感謝申し上げます。

本年度も、県をはじめ関係機関との連携を図り、国に対しての要請活動を行い、会員の皆様の利益増進につながる事業活動を積極的に展開する所存でございます。関係各位のご理解とご協力をお願い申し上げます、ご挨拶といたします。



## 渕野農林水産部長のご挨拶

大分県農林水産部

部長 渕野 勇

本年度より、大分県農林水産部長に就任しました渕野でございます。よろしく申し上げます。水土里ネット大分及び会員の皆様には、日頃より本県の農林水産業の振興に多大なるご協力を賜り厚くお礼申し上げます。

さて、国では、近年における食糧需給の変動など農業・農村をめぐる諸情勢の変化に対応し、食料安全保障の確保、農業の持続的な発展のための生産性の向上、農村における地域社会の維持等を図るため、新たな食料・農業・農村基本法改正案が国会に提出され審議されているところです。

本県においても、農林水産業を取り巻く環境は、食のグローバル化による消費志向の変化や、顕著化する気候変動、先端技術の活用など、大きな変化の中にあります。加えて、近年では、相次ぐ自然災害の発生、エネルギー・原材料価格の高騰などにより、産地間競争も激化しております。

そのような中、県では、令和3年から農業関係団体と共同で農業総合戦略会議を立ち上げ、県農業の再生、さらには成長産業化を目指し、取り組んでいるところです。

この結果、ねぎ、ピーマン、高糖度かんしょ、ベリーの短期集中県域支援4品目全てで令和5年度の生産面積目標を達成するなど着実に成果が現れているところです。

今後も、第一線で頑張っている生産者の目線を忘れることなく、市町村や関係団体等と一丸となり、スピード感を持って、しっかり取り組んでまいります。

また、昨今の国際情勢の変化や国内の人口減少などに対応するために、現在策定中の「大分県長期総合計画」の農林水産業部門計画として、新たな「大分県農林水産業振興計画」の策定を進めています。これは、「自ら考え・動き・みんなで実現する元気な農林水産業」を基本目標として、これまでに約600名の生産者の方々からの意見をもとに取り組んでいるところです。

今後、素案のパブリックコメントを経て、9月議会上程の予定としておりますが、農業農村の整備は、本県農業の成長産業化を目指す上で、その礎となるものです。その実施にあたっては、次の視点が重要であると考えています。

まずは「農家所得向上に向けた園芸産地づくり」です。米から高収益作物への転換を図るため、排水対策や土層改良など品目に応じたきめ細かな整備を行うとともに、大野川上流地域や駅館川地域の国営事業などを契機とした大規模な園芸産地の育成に向け、担い手への農地の集約化に加え、かんがい施設などの高機能な農地整備を進めていきます。

次は「災害に強い生産基盤の整備」です。自然災害の頻発化や水路など農業水利施設の老朽化が進行しており、防災重点農業用ため池のハードとソフト対策の両面から取り組むとともに、農業水利施設についても、更新整備を着実に実施してまいります。

これらいずれの取組におきましても、農業農村整備に期待される役割がますます重要となっており、皆様には、本県農業の成長産業化に向けて、これまで以上のご支援とご協力を賜りますようお願い申し上げます。

最後に、水土里ネット大分の益々のご発展と、会員皆様のご活躍をご祈念申し上げまして、ご挨拶とさせていただきます。



## 森迫農地計画課長のご挨拶

大分県農林水産部農地計画課

課長 森迫光晴

本年度から農林水産部農地計画課長となりました森迫です。よろしくお願いいたします。

水土里ネット大分及び会員の皆様には、日頃より本県の農業農村整備事業の推進に格別のご支援、ご協力をいただき、心から御礼申し上げます。

最初に、行政組織についてです。これまでの農村整備計画課、農村基盤整備課ですが、「農地計画課」と「農地・農村整備課」に再編し、農地整備に関する業務を集約した「農地整備班」を新設しました。これは、農業の成長産業化に向けて園芸産地の拡大を目指し、計画的な団地化に向けた農地整備をこれまで以上に進めていくために行ったものです。

次に、農業農村整備事業予算に目を向けますと、国予算では、令和5年度の補正予算と令和6年度予算を合わせ、6,240億円が確保されています。

県予算でも農業農村整備の分野では、令和5年補正予算46億円と令和6年度当初予算110億円を合わせて、156億円を確保することが出来ました。県では、皆様の期待に応えることができるよう、この予算を農業農村の振興のため、しっかりと活用してまいりたいと考えています。

また、今年度の主な取組を挙げますと、国会で審議されている食料・農業・農村基本法の見直しや現在策定中の県農林水産業振興計画と歩調を合わせる形で、新たな農業農村整備長期計画（第5次）に取り組みます。これは現計画（おおいた農業農村整備推進プラン2015）が平成28年3月に策定され、令和6年度を最終年度としていることから、県農林水産業振興計画を補完するものとして、令和6年度から15年度までの10年間を計画期間として策定するものです。

今後予想される少子高齢化・人口減少社会の本格化や、多発化・大規模化する自然災害等への対応など、急激な社会情勢の変化等の様々な課題に対応できるよう検討を進めてまいります。

次は、園芸産地の拡大に向けた大規模優良団地の計画的な整備に向けて、農地情報カルテの整備に取り組むこととしています。

これは、農地開発事業等で造成された未利用農地等を対象に、再整備可能な農地をリスト化し、農地情報を整理し、担い手とのマッチングの後、新たな園芸産地として構想計画を策定し、果樹の需要拡大に伴い企業参入などによる大規模な園芸産地づくりを支援するものです。

最後に、令和6年度から大野川上流地域の農業用水の安定供給に向けた大谷ダムの健全化に取り組むこととしています。これは、建設から80年余り経過し、堤体部の老朽化等が進んでいることから、その解消を目的に令和21年度までの16年間、総事業費122億円をかけて対策を実施するものです。

これらの取組等は、本県の進めている農業の成長産業化や園芸産地づくりの取組を下支えすることが期待される場所です。

今後も引き続き、国への要望を行い、地元からの声を届けてまいりますので、会員皆様の益々のご支援、ご協力をお願いいたします。

結びに、会員皆様方のご健勝とご活躍をお祈り申し上げまして、ご挨拶とさせていただきます。



## 小林農地・農村整備課長のご挨拶

大分県農林水産部農地・農村整備課

課長 小林 康二

本年度の異動により、農地・農村整備課長に就任しました小林でございます。よろしくお願いいたします。

会員の皆様におかれましては、常日頃から本県の農業農村整備事業の推進にあたり、多大なるご理解とご支援をいただき、心から感謝申し上げます。

さて、国においては、現在開会中の通常国会において食料・農業・農村基本法の改正案が審議されています。改正案では、農地の区画拡大、水田の汎用化及び畑地化など農業生産基盤の整備、並びに防災・減災や既存施設の老朽化への対応も視野に農業水利施設等の整備に加え、保全も位置づけられており、ますます水土里ネットの重要性が高まるものと考えております。

本県の農業農村整備事業においては、基本法などを踏まえながら、「園芸産地づくりに向けた農地整備の推進」、「防災重点農業用ため池の計画的な改修等による防災減災対策」、「農業水利施設の突発事故への迅速な対応と計画的な更新整備」を推進してまいります。

まず「農地整備」です。これまで水田畑地化基盤整備及び畑地帯の整備により高収益な園芸作物の導入や大規模園芸団地づくりを進めてきたところですが、今後は、これまで以上に迅速かつ大規模な園芸産地づくりに向けて、過去造成した畑地帯や耕作放棄地（畑）など再整備が可能な農地について、地権者の意向等を踏まえた整備範囲、3D現況地形イメージ図などを農地情報カルテとして整理し、担い手とのマッチングに活用し、マッチングが出来次第、速やかに事業化に向けた計画策定を行うなどの取組を推進することとしています。2つ目は、「防災減災対策」です。防災重点農業用ため池に関して、概ね10年間を見据えたため池工事推進計画に基づき、耐震化や廃止等を集中的かつ計画的に実施していくこととしています。ソフト対策では、令和5年度から運用を開始した「大分県ため池管理システム」について、現在は4月に21箇所を追加し県内45箇所ですべて運用しています。引き続き、被害の影響度が高いため池において、地震・豪雨の際に、ため池管理者等が安全かつ迅速にため池の状況を遠隔で把握し適切な管理を行う事ができるよう、水位計や監視カメラの設置を進め拡充を図ってまいります。加えて、流域治水に係る田んぼダム、農業用ダムやため池での事前放流に取り組んでまいりますので、ご協力の程、よろしくお願いいたします。

3つ目は、「突発事故への迅速な対応」です。農業水利施設の突発事故が多発し、毎年のように地域農業へ重大な影響を及ぼしかねない事案が発生しています。予防・保全に向け、これまでの取組に加え令和5年度から、これまで目視点検が出来なかったパイプラインやサイフォン等の暗渠部分において、小型ドローン等を用いて、施設診断を行い、計画的な更新整備が行えるよう取り組んでいます。併せて、事故発生後に速やかな復旧が可能となるよう、特殊な管材や継手等のストックについても取組を進めてまいります。

こうした取組を着実に実施していくために必要な農業農村整備事業予算については、引き続き、通常予算並びに国土強靱化5ヶ年加速化対策予算等の確保に全力で取り組んでまいりますので、「水土里ネットおおいた」の皆様のご支援、ご協力の程、よろしくお願いいたします。

最後に、「水土里ネットおおいた」の益々のご発展と会員皆様方のご健勝とご活躍を祈念し、ご挨拶とさせていただきます。

## 能登半島地震 石川県災害応援

水土里ネット大分は、令和6年1月1日（月）に発生した令和6年能登半島地震で被害を受けた、農村地域の下水道施設である農業集落排水施設の管路の被災調査のため、2月と3月の2度にわたりのべ4名の職員を派遣した。

石川県では79に及ぶ農集排地区があり、特に震災の影響が大きかった石川県北部地域において、全国各県土連をはじめ、農林水産省、県、市町村、コンサル等からの派遣者が施設調査を実施した。

### ◎調査の概要

#### 〈1次調査〉2月5日～9日（5日間）2名、調査地：七尾市大津地区

マンホール蓋を開け、滞留、土砂堆積、マンホール躯体の損傷、隆起・沈下、ミラー検査、周辺地盤の変状調査を行う。

#### 〈2次調査〉3月11日～14日（4日間）2名、調査地：志賀町館開地区、倉垣地区

1次調査でマンホール内の滞留や蓋の変形があった区間をバキュームカーで吸引しつつ、さらに詳細に調査する。

北陸地方では冬場は雨や雪が多く、調査期間中はほぼ雨天であったが、マンホールを一つずつ開口し調査を実施した。マンホールの隆起や沈下、滞留、管路上部の路面陥没などの被害が多く見られた。

このような広範囲な被害調査に当たっては、当地を知らない派遣者が調査を行うこととなるため、平時のうちに施設台帳を整備しておくことが重要である。



マンホールや管路上部の路面変状



マンホール内の滞留



ミラー検査（1次）



バキュームカー吸引（2次）



管内カメラ調査（2次）

## 「中部女性連絡協議会」設立総会を開催

去る2月19日（月）、土地改良会館大会議室にて、大分市、由布市の土地改良区で働く女性職員22名が集まり「女性の会（中部女性連絡協議会）設立総会」が開催された。

開催にあたり、大分地方土地改良区理事長会 安部雅己会長（初瀬井路土地改良区理事長）が、設立に対しての経緯や激励を述べた。また、来賓として、大分県土地改良事業団体連合会 義経賢二会長より、祝辞と令和6年度農業農村整備事業関係予算と併せて平成21年からの国の動きを含めた予算関係の流れについての講話が行われた。

総会議事としては、設立の趣旨や概要説明の他に活動内容、女性部会名称と規約（案）等について協議され、今後は大分地方土地改良区理事長会の組織となり意見交換会や勉強会等の活動を年4回実施していくことが決定された。

総会終了後は、場所をパルスファイブに移し意見交換会を行い、女性部の結束力をさらに深めた。



大分地方土地改良区  
理事長会  
安部雅己会長



大分県土地改良事業  
団体連合会  
義経賢二会長



意見交換会（パルスファイブにて）

## 玖珠郡土地改良協議会合同水神祭を開催

玖珠郡土地改良協議会（会長：武石俊一玖珠町土地改良区理事長）は2月29日（木）、嵐山瀧神社（玖珠郡玖珠町山浦）にて土地改良連合会 義経会長、加藤常務理事を来賓として招き、同じ地域で農業水利施設を管理する団体として、水の恵みに感謝し豊かな農業の繁栄と自然災害の発生防止、維持管理作業中の事故防止を祈願するために、初めて5つの土地改良区合同での水神祭を開催した。

玖珠郡地域には5つの土地改良区があり、受益面積は1,360ha、総組合員数約2,000人、管理基幹水路延長は88kmに及ぶ。古くは西暦1441年（室町時代）に古後井路が開削されたといういわれもあり、500年以上前から、この玖珠郡地域で本格的な農業用水路の建設が始まったとされる。

地域の基である農業を営むための農業用水の確保に、先人たちが土地改良事業等により苦勞に苦勞を重ね築造した大切な施設を、各土地改良区は日々守り続け、農業生産に必要な水を供給し、人々の食生活を支えている。

玖珠郡土地改良協議会構成団体（飯田土地改良区、千町無田土地改良区、中村土地改良区、玖珠町土地改良区、九重土地改良区）



## 全国水土里ネットが通常総会並びに表彰式を開催

3月26日（火）、全国水土里ネット（二階俊博会長）は東京都の全国都市会館において第66回通常総会を開催した。

冒頭、全国水土里ネット義経賢二副会長（水土里ネット大分会長）の二階会長代読あいさつでは、「今国会にて「食料・農業・農村基本法」の改正法が審議されていますが、改正法案の内容について、土地改良団体としての意見をしっかりと上げていくことが重要である。また、男女共同参画の目標達成期限まで2年となり、皆で力を合わせて頑張りましょう」と述べられた。

議事では、総会提出の10議案が全会一致により承認された。

総会后、会場をシェーンバッハ・サボーに移し、能登半島地震に係る被災地支援のための水土里ネット支援金の贈呈式と全国水土里ネット表彰式が開催された。贈呈式では全国の団体から寄せられた水土里ネット支援金5,900万円の目録を全国水土里ネット二階俊博会長より水土里ネット石川岡田直樹会長に手渡された。表彰式では、第65回全国土地改良功労者等表彰と農業農村整備優良地区コンクールが執り行われ、大分県からは第65回全国土地改良功労者等表彰の全国水土里ネット会長表彰として、団体（仲ノ瀬土地改良区）、個人（三船土地改良区 佐藤芳裕理事長、大野町土地改良区 秦忠土理事長、後藤芳光事務局長、荒瀬井堰土地改良区 末廣勇理事長、須ノ原土地改良区 濱田三郎事務局長）が表彰された。

農業農村整備優良地区コンクールでは、農地中間管理機構関連農地整備事業により荒廃した農地を再生し企業参入の実現。そして、ブランドレモンの生産と加工販売に取り組む活動等が評価された佐伯市の米水津地区が農業振興部門で全国水土里ネット会長賞を受賞した。



全国水土里ネット 第66回通常総会



代読する全国水土里ネット  
義経賢二副会長（水土里ネット大分会長）



第65回全国土地改良功労者等表彰（二階会長との記念写真）

二階俊博全国水土里ネット会長を囲んで左より  
義経賢二会長（全国水土里ネット副会長）、佐伯市農政課 小野由貴子副主幹、  
大野町土地改良区 秦忠土理事長、荒瀬井堰土地改良区 末廣勇理事長、  
三船土地改良区 佐藤芳裕理事長、仲ノ瀬土地改良区 渡邊啓一郎理事長



全国水土里ネット 表彰式

# 会議・要請活動

## ●大分ため池技術研究会が現場研修会（2月8日）を開催

大分ため池技術研究会（大坪政美会長：九州大学名誉教授）が2月8日（木）、初めて県外のため池で現場研修会を開催した。

研修の目的は、ため池整備で最も重要な刃金土に適する盛土材料（遮水性がある粘土質の材料）の調達・確保が困難なため池における代替的な改修工法として用いる「遮水シート工法」について、工事中の宮崎県の現場を研修し、現場技術者の技術力向上と技術課題の解決に向けた関係者の連携強化を図るもので、大分県農村基盤整備課（防災班）との共催で行われた。

現場は、宮崎県国富町の大谷上溜池（防災重点農業用ため池）。工事はほぼ終盤で洪水吐地山側のシート敷設状況を見学した。

大坪会長は主催者あいさつで「大分県では遮水シート工法は緒に就いたばかりで今日の貴重な現場を今後の大分県のため池施工に役立てていきたい」と述べ、宮崎県の担当者が工事概要、遮水シートの製造担当者が材料について説明した。

県担当班総括の佐藤広光参事が進行した質疑応答では、設計コンサル、施工業者、地質調査等各部門からの参加者が施工手順や施工上の問題点、設計積算などについて質問を投げかけ、宮崎県側から発注者・受注者がていねいに回答していただいた。

宮崎県では平成16年より刃金土から遮水シート工法に移行しているとのことであり、刃金土工法が主流の大分県の参加者からは終了後のアンケートでも「実際の現場を見れて良い経験になった」などの声が多く聞かれた。

最後に、研究会事務局長の土地連加藤正明常務が「踏み込んだ質問もあったが有意義で本当に勉強になった」とお礼のことばを述べ、研修会を終了した。

今後とも「大分ため池技術研究会」では、現場の課題解決等が図れるよう現場に力点を置いた活動を行っていくこととしている。



会員企業によるドローン撮影



活発な質疑応答が行われた



県職員、研究会会員など53名が参加

## ●第66回通常総会を開催

3月21日（木）、土地改良会館大会議室において第66回通常総会を開催した。来賓として、佐藤樹一郎大分県知事、北林英一郎九州農政局長の代理として松本勉地方参事官、佐藤章大分県農林水産部長らにご臨席いただいた。

総会に先立ち土地改良事業に功績のあった土地改良区会員個人11名、県関係個人4名、本会職員表彰4名をそれぞれ表彰。総会では、本会の義経会長が「市町村や土地改良区の会員サービスについてもしっかりと行っていき、災害が起き被害が出ればすぐに駆け付けていきたい」とあいさつ。

総会の議事では、議長に大竜井路土地改良区の新井一徳理事長を選任し、提案した8つの議案が原案どおり承認された。



### 【大分県土地改良功労者表彰】

#### 1. 土地改良区会員の部

管内	氏名	所属	職名	年齢	経験年数
高田	板井 俊作	石河内溜池土地改良区	理事長	74歳	13年
杵築	中野 房夫	杵築市土地改良区	理事	74歳	16年
大分	後藤 和臣	享保井路土地改良区	代表監事	83歳	28年
臼杵	原田 光昭	野津土地改良区	理事	78歳	26年
佐伯	山田 慶治	木立土地改良区	理事	67歳	23年
三重	高橋 啓二	長谷緒土地改良区	理事	63歳	13年
竹田	後藤 康憲	富士緒井路土地改良区	元理事長	77歳	12年
玖珠	野木 陸雄	中村土地改良区	会計	70歳	17年
日田	中野 靖隆	池辺土地改良区	理事長	81歳	13年
中津	高尾 博文	大井手堰土地改良区	理事	63歳	20年
宇佐	安部 豊通	院内土地改良区	前事務局長	75歳	14年

#### 2. 県関係功労者の部

氏名	所属	職名	年齢	勤続年数
黒垣 圭則	農林水産部農村整備計画課	参事監兼課長	60歳	38年
野上 輝義	農林水産部工事技術管理室	室長	60歳	38年
小野 辰三	東部振興局日出水利耕地事務所	所長	60歳	42年
高倉 義治	西部振興局	課長補佐（総括）	60歳	35年

#### 3. 本会職員表彰

氏名	所属	職名	年齢	勤続年数
松木 一宏	事業部	部長	60歳	35年
田部 文敏	事業部換地課	課長	60歳	36年
河野 直樹	事業部災害対策課	課長	60歳	41年
清末 功一	北部事務所	所長	60歳	40年

## ●大分県農業・農村多面的機能支払シンポジウム2023～水土里の資源を次世代へ～の開催

令和6年1月24日（水）J:COMホルトホール大分 大ホールにて農村の活性化や県内活動組織の取組への意識向上を図るとともに、更なる取組面積の拡大や組織の広域化推進を目的に大分県多面的機能支払推進協議会（会長 義経賢二）が開催した。当日は、前日からの寒気による北部・西部地域での大雪の影響により県内活動組織より280名が参加となった。その後、県内598団体のうち4組織を優良活動組織として表彰し、各代表者が事例発表を行った。農林水産省農村振興局 整備部 農地資源課 多面的機能支払推進室 栗田徹室長による『多面的機能支払交付金の展開方向について』と題して基調講演を行った。

令和5年度 優良活動組織

最優秀賞：朝日地域資源保全組合（日田市）

優秀賞：国東地域広域協定（国東市）

優秀賞：定野尾地区環境保全組合（杵築市）

優秀賞：直入地域広域協定（竹田市）



### 県の職員配置

部署名	職名	氏名	
【農林水産部】	部長	洲野 勇	
	審議監（農政担当）	安東 正浩	
	農地計画課	課長	森迫 光晴
		農地計画監	都留 俊明
		課長補佐（総括）	香嶋 秀史
		課長補佐（総括）	菅原 貴美
		課長補佐（総括）	瀨川 幸弘
		課長補佐（総括）	久住 真和
	農地・農村整備課	主幹	矢野 誠也
		主幹	伊東さち子
		主幹	小野 貴史
		課長	小林 康二
		参事（総括）	衛藤 博司
参事（総括）		灘波 悦史	
大分県中央飛行場 管理事務所	課長補佐（総括）	辛島 光彦	
	課長補佐（総括）	濱田 和樹	
	所長	藤原 邦夫	
工事技術管理室	室長	永野 和範	
	主幹（総括）	石崎 聡一	
【東京事務所】	参事	吉武 史弥	
【土木建築部】			
工事検査室	室長補佐（総括）	牧 徹	
【東部振興局】	局長	佐藤 元彦	
	次長	小野 猛	
	農林基盤部	部長	谷山 健一
		課長補佐（総括）	佐保 貴之
		課長補佐（総括）	木村 勝博
		課長補佐（総括）	坂元 大輔
	日出水利耕地 事務所	課長補佐（総括）	小山 長則
		課長補佐（総括）	河野 幸治
		主幹（総括）	清水 恵子
		主幹（総括）	小崎 智
主幹（総括）		工藤 博昭	
局長		柳井 孝則	
【中部振興局】	次長	川島栄一郎	
	農林基盤部	部長	佐藤 広光
		課長補佐（総括）	甲斐崎一成
		課長補佐（総括）	野上 康則
		課長補佐（総括）	池上 正人

部署名	職名	氏名	
【南部振興局】	主幹（総括）	坂本 淳一	
	主幹	甲斐 智之	
	農林基盤部	局長	曾根田英雄
		次長	山田 倫久
		部長	上野 勝巳
		課長補佐（総括）	麻生 春治
		主幹（総括）	御領園 進
	【豊肥振興局】	局長	清水 豊
		次長	黒川 義之
		農林基盤部	部長
課長補佐（総括）			亀井 正彦
課長補佐（総括）			中野 篤史
主幹（総括）			赤嶺 康信
豊後大野水利 耕地事務所			所長
大野川上流開発 事業事務所		課長補佐（総括）	田北 茂広
		主幹（総括）	吉田 友春
		主幹（総括）	木田 俊吉
	所長	法野裕二郎	
	課長補佐（総括）	工藤 政彦	
	課長補佐（総括）	工藤 和	
	主幹（総括）	佐藤 洋祐	
	主幹（総括）	豊福 博記	
	主幹	伊東 孝浩	
	【西部振興局】	局長	石井 聖治
次長		陶山 圭二	
農林基盤部		部長	諫元 伸宏
		主幹（総括）	甲斐 和広
		主幹（総括）	有延 滋
		主幹（総括）	園田 耕司
【北部振興局】	局長	藤川 将護	
	次長	岩武 伸恭	
	農林基盤部	部長	辻野 泰弘
		課長補佐（総括）	渡邊 敬介
		課長補佐（総括）	黒岩 聡
		主幹（総括）	谷 博文
		主幹（総括）	隈田 慎一
	主幹（総括）	平野 雄志	
	主幹	吉良 賢太	
	主幹	渡邊 祐樹	

令和6年4月1日、主幹級以上

部署名	職名	氏名
総務部	参与	伊藤 信二
	事務局長兼 総務部長	森下 健二
総務課	総務部次長兼 総務課長	鶴成 巖
	課長補佐	工藤 寛嗣
総務係	技師	中村 貴輝
	技術員	赤峰 慶俊
経理係	副主幹	首藤 英介
	主任	吉岡 桂介
会員支援課	課長	佐藤 公博
会員支援係	課長補佐	佐々木 光治
	主任	十塚 弘一
	主任	江田 敏寿
	技師	松田 伸也
情報管理課	課長	秋吉 克則
水土里情報係	課長補佐	小川 剛
	主任	宇都宮 弘樹
情報管理係	技術員	中津留 颯太
	主任	福田 達
事業部	技術員	安藤 朔也
	部長	清水 寿和
農村整備計画課	課長	阿南 貴章
	課長補佐	麻生 晶広
	主幹	安部 俊郎
企画調査係	主任	塗木 一輝

部署名	職名	氏名
農村整備係	技師	山田 翔太
	技師	平野 祐輝
	主査	宇高 亮
	主任	古庄 巧
	技師	片山 愛理
	技師	北田 圭佑
災害対策課	技師補	甲斐 颯人
	技術員	宮迫 裕晟
技術支援係	課長	伊東 哲士
	課長補佐	板井 正信
調査測量係	技師	幡手 貴一
	主任	林 智光
換地測量課	主任	福田 良貴
	技師補	藤澤 匠真
換地係	課長	大塚 景介
	課長補佐	重光 宏昌
(北部国営対策班)	課長補佐	工藤 大介
	主任	清家 大志
調査測量係	技師	前田 侑希
	技師	水澤 陵甫
	主幹	佐藤 裕樹
	主任	増岡 樹信
	主任	藤田 義昭
	主幹	首藤 宏志
技師	技師	藤田 義昭
	技師補	白須 大和

部署名	職名	氏名
中部事務所	技術員	諸富 愛武
	所長	馬場啓四郎
	課長	宮尾 文康
	技師	幡手 幹也
南部事務所	技術員	吉田 蒼
	所長	中城 英利
調査設計課	次長	大石慎一郎
	課長	阿南圭一郎
	主任	西川 真
	技師	重藤 樹弥
西部事務所	技師	藤原 大輔
	技術員	児玉 賢正
	所長	麻生 隆男
	課長	梅本 孝輔
北部事務所	主査	赤嶺 有永
	技術員	望叶 望叶
調査設計課	所長	河野 浩一
	次長	河野 智弘
	課長	岡部 真一
	副主幹	松本 浩一
調査設計係	主任	山本 勇樹
	主任	東 兵樺
	技師	小野 光佑
	技師	東野 克夫
技師補	高山 遼大	
技師補	柴田 享兵	

## 水土里ネット大分 各部課所長の紹介



### ●参与 伊藤 信二

農業農村の基盤を地域で下支えしている会員皆さまへの支援が連合会の最大の使命であり、その業務遂行において着実かつ円滑な推進の一助となるよう今後も一層努力してまいりますので、引き続きよろしくお願い致します。



### ●事務局長兼総務部長 森下 健二

食料・農業・農村基本法の見直しが進む中で、土地改良区並びに連合会の果たす役割は益々重要になると感じています。会の健全な運営はもとより、迅速な会員支援を通して会員皆様のご要望に添えるように努めて参ります。



### ●総務部次長兼総務課長 鶴成 巖

総務課では、総務全般の業務に加え、総会や理事会、監事会、各種協議会等の事務局を担っております。昨年より、コロナ前の活動に戻り実施してまいりました。引き続き会運営の健全化を図ることはもとより、会員皆様方の要望にそえるよう努力していきます。



### ●会員支援課 課長 佐藤 公博

会員支援課では課員6名で、連合会の二本柱の一つである会員支援として会員の皆様による各種相談への対応や体制強化事業、多面的機能支払、ため池サポートセンターなどの各種補助事業に取り組んで参ります。また、今年度も複式簿記等や法改正に伴う諸問題へ迅速な対応を行いながら、会員皆様の支援になるよう出先事務所と連携を図りながら努力して参ります。



●情報管理課 課長 秋吉 克則

情報管理課では、情報管理係（積算システム運用管理・工事図書電子化等）及び水土里情報係（水土里情報システム運用保守・問合せ対応）の業務を行っております。

併せて、県下64の団体が加盟する「大分県水土里情報センター推進協議会事務局」も担っており、課員全員で皆様のご要望に添えるよう努力していく所存です。



●事業部 部長 清水 寿和

本年度、事業部長を拝命致しました。土地改良法の改正に伴い、本会職員の技術力の向上を図るとともに、迅速な災害対応ができるよう人材育成を行って参ります。また、新技術についても開発・検討し、会員の皆様方のご要望に添えるよう一層努力していく所存です。本年度もよろしくお願い致します。



●農村整備計画課 課長 阿南 貴章

農村整備計画課は、新規事業の啓発・推進等を行う計画部門とため池やパイプラインなどの農業用施設の調査、農業集落排水事業の計画・実施設計、新技術の研究等を行う調査・設計部門で業務を行っております。

皆様のご要望、生産基盤の整備に貢献できますよう職員一丸となり、努力して参ります。よろしくお願い致します。



●災害対策課 課長 伊東 哲士

災害対策課では、地震や豪雨による農地・農業用施設の被災状況を把握し、災害査定から実施設計まで災害復旧事業に関する一連の業務を行っております。また、迅速な災害復旧対応に向けた実務研修会を通じて、技術者の育成に努めて参ります。本年度、職員7名体制にて会員皆様の要望に応えられるよう努力して参ります。



●換地測量課 課長 大塚 景介

本年度から換地課と測量課が統合となり、換地測量課が新設され、県内一円の換地・測量業務を一手に担うこととなりました。新たな気持ちで、農業農村整備事業の向上のために、貢献出来るよう努力して参ります。

よろしくお願い致します。



●中部事務所 所長 馬場 啓四郎

中部事務所は、管内4市（大分市、由布市、臼杵市、津久見市）における農業農村整備事業の調査、測量、設計業務を行うと共に、会員の皆様方の抱える諸問題や相談、災害支援等に迅速な対応で取り組んで参ります。

本年度もどうぞよろしくお願い致します。



●南部事務所 所長 中城 英利

南部事務所では、佐伯市・竹田市・豊後大野市における農業農村整備事業の調査測量・設計業務を行っています。職員数は9名で、本年度は一般業務に加えて会員支援や事業の推進にも全力で対応していきます。信頼される事務所を目指して日々努力を重ねていきます。



●西部事務所 所長 麻生 賢正

西部事務所は、日田市・玖珠町・九重町における農業農村整備事業の調査・測量・設計業務を行っております。職員数は総勢4名と少数ですが、会員の皆様方からのご要望にお応えできるように職員一同努力して参りますので、今後ともどうぞ宜しくお願い致します。



●北部事務所 所長 河野 浩一

北部事務所では、中津市・宇佐市・豊後高田市・国東市・姫島村・日出町・別府市における農業農村整備事業の調査・測量・設計業務を行っています。昨年度に引き続き、総勢11名体制で会員支援並びに事業推進に取り組むとともに、会員の皆様方に満足していただけるよう努力して参ります。今後ともよろしく宜しくお願い致します。

## 長い間おつかれさまでした

令和6年3月31日付けで、松木一宏事業部長、河野直樹災害対策課長、田部文敏換地課長、清末功一北部事務所長が退職されました。長年にわたり、大分県の農業農村整備事業ならびに連合会の発展に対して、ご尽力いただき誠にありがとうございました。今まで大変お疲れ様でした。



左より 義経会長、松木一宏事業部長、河野直樹課長（災害対策課）、田部文敏課長（換地課）、清末功一所長（北部事務所）、加藤常務理事

# 令和6年度新規採用職員の紹介



## 農村整備計画課 宮迫 裕晟

この度、新規採用されました宮迫裕晟です。  
 国東高校環境土木科を卒業しました。これからは社会人になったので、より一層挨拶や礼儀を大切に、これから日々の仕事に取り組んでいきます。また環境土木科で学んできた農業土木の知識を活かし、これからの大分県の農業の発展に少しでも貢献できるように仕事や資格取得に精一杯頑張りたいと思います。これからご指導のほどよろしくお願いいたします。



## 換地測量課 諸富 愛武

この度、新規採用されました諸富愛武です。  
 国東高校環境土木科を卒業しました。高校時代に農業土木の事について学び、農村整備やため池の整備などに携わりたいと思い、入会しました。これからは、礼儀や挨拶など社会人として当たり前のことをしっかりとし、一日でも早く連合会に貢献できるように、先輩方を見習って頑張りたいと思いますのでご指導のほどよろしくお願いいたします。



## 北部事務所 小野 光佑

この度、新規採用されました小野光佑です。  
 大分市出身で、生まれ育った大分県に恩返ししていきたいと思っています。また、近年、地球温暖化の影響で大雨になることが多く水害・土砂災害の件数が多くなっていると思います。そのような災害への防災、復旧などに少しでも力になれるよう、まだまだわからないことが多いですが日々努力していきますので、ご指導・ご鞭撻のほどよろしくお願いいたします。

## 令和5年度 資格取得者

令和5年度資格試験に以下の方が合格されました。おめでとうございます。

### 2級土木施工管理技士

総務課	吉岡 桂介
会員支援課	福田 良貴
情報管理課	福田 達
情報管理課	宇都宮弘樹
情報管理課	片山 愛理
災害対策課	幡手 貴一
北部事務所	松田 伸也

### 測量士補

測量課	首藤 宏志
-----	-------

### 農業農村地理情報

#### システム技士(NN-GIS)

情報管理課	宇都宮弘樹
情報管理課	片山 愛理

#### UAV2級操縦士技能

情報管理課	福田 達
情報管理課	宇都宮弘樹

#### 会計指導員

会員支援課	佐藤 公博
-------	-------

### 1級土木施工管理技士補

農村整備計画課	西川 真
---------	------

### 2級土木施工管理技士補

総務課	赤峰 慶俊
測量課	中津留颯太
北部事務所	高山 遼大

※所属は令和6年3月31日時点

## 第10回大分県土地改良振興大会開催のお知らせ

### 第10回大分県土地改良振興大会 ～「水」「土」「里」の資源を、次世代へ～

昨今の農業・農村においては、食料安全保障の議論が高まりつつある中、食料自給率強化に向け、その基盤づくりを担う土地改良分野への期待は大きくなるものと受け止めています。

しかしながら、過疎化や高齢化、担い手不足等による地域活力の低下に加え、大規模地震や気候変動による豪雨災害の多発など、多くの課題が山積している状況にあります。

また、本県においては、中山間地域が7割を占め、数多くの水路トンネルや「ため池」等の維持管理に多大な労力とコストを費やしています。更に、農業水利施設の大半が更新時期を迎えている状況下で、国土強靱化の観点から早急な更新整備と防災・減災対策を図るとともに、集落機能の維持に努めていかなければなりません。

このような背景から、『「水」「土」「里」の資源を、次世代へ』の思いを共有する県下の土地改良関係者参集のもと、農業・農村の持続的発展と、更なる農業農村整備事業の推進を目的として、第10回目となる「大分県土地改良振興大会」を開催します。

- 主 催 大分県土地改良事業団体連合会・大分県農業農村整備事業推進協議会・大分県土地改良区理事長会
- 日 時 令和6年6月27日（木）10：00～
- 場 所 大分市「ホルトホール大分」大ホール
- 内 容 主催者・来賓挨拶、意見発表「地域の声」、大会決議採択 他

HPIはこちらから  
<http://midorinet-oita.or.jp/>



### 水土里ネット大分



### 大分県土地改良事業団体連合会

- 事務局 〒870-0045 大分市城崎町2丁目2番25号  
TEL097-536-6631 FAX097-536-6080
- 中部事務所 〒870-0045 大分市城崎町2丁目2番25号（事務局3F）  
TEL097-536-6632 FAX097-534-4338
- 南部事務所 〒879-7125 豊後大野市三重町内田742-3  
TEL0974-22-1744 FAX0974-22-1798
- 西部事務所 〒879-4413 玖珠郡玖珠町大字塚脇472-2  
TEL0973-72-1952 FAX0973-72-3419
- 北部事務所 〒879-0453 宇佐市大字上田1301-2  
TEL0978-32-1740 FAX0978-33-3186

